

平成24年8月8日

各 位

住友化学株式会社

テマカットフロアブルの登録内容変更に関するご案内

拝啓

時下ますますご隆盛の段、お喜び申し上げます。平素は格別のご指導を賜り、厚く御礼申し上げます。さて、首記の件、平成24年8月8日付けで使用制限を伴う登録変更が実施されましたので、下記の通りお知らせ申し上げます。

ご使用に際しましては、変更後の適用内容を遵守いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 対象となる農薬

登録番号	農薬名（商品名）	登録会社
第19848号	テマカットフロアブル	科研製薬株式会社

2. 登録変更の時期

平成24年8月8日（水）

3. 登録変更の内容

- (1) 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代後～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」と変更する。
- (2) 適用作物「移植水稻」における使用時期「植代時～移植前4日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」を「植代時（移植7日前まで）」及び「植代後～移植前7日または移植直後～ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで」と変更し、使用時期「植代時（移植7日前まで）」の使用方法を「植代時に原液のまま散布し混和する」と変更する。
- (3) 適用作物「直播水稻」における使用時期「湛水直播の代かき後～播種前4日」を「湛水直播の代かき時（は種7日前まで）」及び「湛水直播の代かき後～は種前7日」と変更し、使用時期「湛水直播の代かき時（は種7日前まで）」の使用方法を「代かき時に原液のまま散布し混和する」とする。

変更前及び変更後の適用表：別紙の通り。

4. 変更理由

水田において使用される農薬における止水期間の遵守を徹底するため。

5. 今後の対応

安全性に懸念の無い登録変更であるため、流通在庫品の回収などはいりません。

【お問い合わせ先】

住友化学株式会社 お客様相談室

電話：0570-058-669（ナビダイヤル）または 03-5543-5607

以 上

別紙

【変更前】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ(北海道を除く) コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、九州) シズイ(東北)	植代後～ 移植前4日 または 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～埴土	500mL / 10a	1回	原液湛水 散布 又は 水口施用	北海道、近畿・ 中国・四国の早期栽培地帯	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	2回以内
		植代時～ 移植前4日 または 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで				原液湛水 散布 又は 水口施用	全域(北海道を除く)の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海、九州の早期栽培地帯		
直播水稲	水田一年生雑草及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の代かき後～ 播種前4日	壤土～ 埴土	300mL / 10a		原液湛水 散布	全域(北海道を除く)	2回以内	

【変更後】

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量	本剤の使用回数	使用方法	適用地帯	ダイムロンを含む農薬の総使用回数	ペントキサゾンを含む農薬の総使用回数
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ ヘラオモダカ クログワイ(北海道を除く) コウキヤガラ(東北、関東・東山・東海、九州) シズイ(東北)	植代後～ 移植前7日 または 移植直後～ ノビエ1葉期 ただし、移植後30日まで	砂壤土～埴土	500mL / 10a	1回	原液湛水 散布 又は 水口施用	全域	3回以内 (育苗箱散布は1回以内、本田では2回以内)	2回以内
		植代時に 原液のまま散布し 混和する				全域(北海道を除く)の普通期栽培地帯及び関東・東山・東海、九州の早期栽培地帯			
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミズガヤツリ	湛水直播の代かき時 (は種7日前まで)	埴土～埴土	300mL / 10a		代かき時に原液のまま散布し混和する	全域(北海道を除く)	2回以内	
		湛水直播の代かき後～は種前7日				原液湛水散布			